

秘

環境問題に関する県民意識アンケート調査票 (事業所用)

平成27年7月

群馬県環境森林部 環境政策課

群馬県では、現在、平成28年3月末で終期を迎える現行の環境基本計画に替わる新たな計画の策定作業を進めております。

このアンケート調査は、本県におけるこれからの環境保全などのあり方を方向付ける基礎資料を得るために、県民のみなさんからの貴重なご意見をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容につきましては、すべてコンピュータによる統計処理を行います。

個々の事業所のご意見を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ございません。調査の主旨にご理解いただきご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<ご記入上のお願い>

1. 記入者

- ・環境保全担当者または環境保全担当部署の方（該当者がいない場合は総務部の方）がご記入ください。

2. 記入方法

- ・回答は、個人としてお答えいただくのではなく、貴事業所としての見解をお答えください。
- ・それぞれの質問で、指定された数の○印をつけてください。
- ・「その他」の項目を選択された場合には、お手数ですが、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ご記入は、黒か青のボールペンまたは鉛筆で、はっきりとわかりやすく、お願いします。
- ・ご記入がすべて終わりましたら、もう一度、記入もれや記入ミスがないかどうか、ご確認ください。

3. 提出

- ・記入の確認が終わりましたら、同封の返信用封筒にいれ、7月27日(月)までに、ご返送ください。

4. 集計結果概要の公表

- ・本アンケートの集計結果は、平成28年3月に策定予定の新計画に反映させるとともに、群馬県ホームページ (<http://www.pref.gunma.jp>) においても公表を予定しています。(平成27年12月頃)

5. お問い合わせ先

- ・本調査についてのご不明な点は、下記にお問い合わせください。

群馬県環境森林部 環境政策課

担当：遠藤、森下

電話：027-226-2815（直通）

I まず、貴事業所に関して簡単な質問をさせていただきます

問1 貴社の業種をお答えください。回答は、次の中からあてはまる番号を1つだけ選び、その番号に○をつけてください。(兼業の場合は、売上の最も多いものをお答えください)

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 7. 金融、保険業、不動産業 |
| 2. 鉱業 | 8. 運輸業 |
| 3. 建設業 | 9. 通信業 |
| 4. 製造業 | 10. 電気、ガス、水道、熱供給業 |
| 5. 卸売業 | 11. サービス業 |
| 6. 小売業 | 12. その他(具体的に) |

問2 貴事業所の事業形態をお答えください。あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(複合している場合は、主たる事業形態をお答えください)

1. 工場
2. 事務所(オフィス)
3. 研究所
4. 店舗
5. その他 → 具体的に()

問3 貴事業所の本社はどこにありますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。

1. 貴事業所が本社である(または、貴事業所は本社に併設されている)。
2. 本社は、群馬県内の別の場所にある。
3. 本社は東京にある。
4. 本社はその他の地域にある。 → 具体的な道府県名()

問4 貴事業所の従業員数(常勤および長期のアルバイト、パートタイマーを含む)をお答えください。

① 貴社の他事業所を含めた全体の従業員数をお答えください。

- | | | |
|-----------|--------------|------------------|
| 1. 1~4人 | 4. 30~99人 | 7. 1,000人~2,999人 |
| 2. 5~9人 | 5. 100人~299人 | 8. 3,000人以上 |
| 3. 10~29人 | 6. 300~999人 | |

② 本アンケートが送られた事業所のみ従業員数をお答えください。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 1~4人 | 4. 20~29人 | 7. 100~299人 |
| 2. 5~9人 | 5. 30~49人 | 8. 300人以上 |
| 3. 10~19人 | 6. 50~99人 | |

問5 貴事業所の年間売上高、あるいは出荷額をお答えください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 5,000万円未満 | 6. 50億円~100億円 |
| 2. 5,000万円~1億円 | 7. 100億円~500億円 |
| 3. 1億円~5億円 | 8. 500億円~1,000億円 |
| 4. 5億円~10億円 | 9. 1,000億円以上 |
| 5. 10億円~50億円 | |

Ⅱ 取組

貴事業所における環境保全の取組について、おうかがいします。

問6 貴事業所では、どのような環境保全の取組を実施していますか。次の（１）から（５）までの取組について、それぞれ、あてはまる番号１つに○をつけてください。

さらに、「現在実施している」と「現在検討中である」に○をした場合は、その際の問題点を、「特に行っていない」に○をした場合は、その理由について、あてはまるアルファベットのすべてに○をつけてください。

（１）事業所での廃棄物のリサイクル

1. 現在実施している

2. 現在検討中である

3. 特に行っていない



<問題点・理由> (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| a. 費用がかかる | g. 一緒に協力して実施する事業所がない |
| b. 手間や時間がかかる | h. 方法がわからない |
| c. 場所を取る | i. その他 () |
| d. 効率が上がらない (期待できない) | j. 当事業所には関連しない |
| e. 社員の協力が得られない | k. 特に問題はない |
| f. 引き取ってくれる業者が確保できない | |

（２）自社取扱商品・容器などの回収やリサイクル

1. 現在実施している

2. 現在検討中である

3. 特に行っていない



<問題点・理由> (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| a. 費用がかかる | g. 一緒に協力して実施する事業所がない |
| b. 手間や時間がかかる | h. 方法がわからない |
| c. 場所を取る | i. その他 () |
| d. 効率が上がらない (期待できない) | j. 当事業所には関連しない |
| e. 消費者や納入先の協力が得られない | k. 特に問題はない |
| f. 引き取ってくれる業者が確保できない | |

C. 騒音・振動・悪臭	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 防音壁や防音ダクトなどの設備の配置	1	2	3	4	5	6
② 低騒音・振動型の機器・機材の導入	1	2	3	4	5	6
③ 脱臭装置の設置	1	2	3	4	5	6
④ 騒音・振動・悪臭を防止するための製造工程の改善	1	2	3	4	5	6

D. 廃棄物の減量・リサイクル	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 空き瓶・空き缶、古紙等の分別排出の実施	1	2	3	4	5	6
② 資料等の作成枚数の最少化、両面コピーを指導	1	2	3	4	5	6
③ リサイクルしやすい材料の使用の推進	1	2	3	4	5	6
④ 製品の包装や梱包の簡素化の実施	1	2	3	4	5	6
⑤ 廃棄物排出量削減やリサイクル率に関する目標の設定	1	2	3	4	5	6

E. 省エネルギー	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 事業所内の冷暖房温度の適切な管理	1	2	3	4	5	6
② 不必要時には、電灯を消し、OA機器の電源を切る	1	2	3	4	5	6
③ 省エネ型の機器の導入	1	2	3	4	5	6
④ 照明の間引き点灯の実施	1	2	3	4	5	6
⑤ エネルギー使用状況の把握	1	2	3	4	5	6
⑥ 省エネルギーに関する目標の設定	1	2	3	4	5	6
⑦ エコドライブの実施	1	2	3	4	5	6

F. 地球環境保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 特定フロン使用の冷暖房設備を代替フロン・ノンフロンに転換	1	2	3	4	5	6
② フロン使用の機器等の処分時には、フロンを回収する	1	2	3	4	5	6
③ フロン使用の機器等の簡易点検や定期点検を実施し、記録保存する	1	2	3	4	5	6
④ 海外研修生の受入れや環境技術の海外移転への協力	1	2	3	4	5	6
⑤ 事業活動に伴い発生する二酸化炭素排出量（年間）の把握	1	2	3	4	5	6
⑥ J-クレジット制度の認証取得	1	2	3	4	5	6

G. 自然環境の保全	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 事業活動による生物多様性への影響の把握・分析	1	2	3	4	5	6
② 生物多様性に配慮された原材料の調達	1	2	3	4	5	6
③ 生物多様性の保全に役立つ技術の開発・普及	1	2	3	4	5	6
④ 所有地における多様な生きものが成育・生息しやすい環境整備や生物多様性の保全に貢献する土地管理の実施	1	2	3	4	5	6
⑤ 従業員に対する生物多様性の保全や持続可能な利用に関する教育の実施	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会貢献活動として生物多様性の保全の取組の実施や支援	1	2	3	4	5	6

H. 活動その他	既に実施している	具体的に検討中	今後検討する予定	実施予定なし	わからない	該当しない
① 美化活動、森林整備、環境イベント等、地域の環境保全活動参加	1	2	3	4	5	6
② 地域住民への環境関連情報の公開	1	2	3	4	5	6
③ 環境基金への寄付等、環境保全に対する資金的な支援	1	2	3	4	5	6
④ ゴミや汚染物質の発生量が少ない商品の開発	1	2	3	4	5	6
⑤ 施設内の緑化をすすめる	1	2	3	4	5	6
⑥ 国際規格 ISO14001、エコアクション21、環境GSの認証取得	1	2	3	4	5	6

Ⅲ 環境保全のための体制

貴事業所における環境保全のための体制について、おうかがいします。

問8 (1) 貴事業所では、企業（事業所）活動に伴う環境問題を専門に担当する部署を設置していますか。
次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。（○は1つ）

1. 当事業所に設置している。
2. 当事業所には設置していないが、本社など会社組織の中には設置している。
3. 当事業所にも、本社など会社組織にもないが、今後設置する予定はある。（→問9へ）
4. 当事業所にも、本社など会社組織にもなく、今のところ設置する予定もない。（→問9へ）

(2) 上記(1)で「設置している」と回答した方におうかがいします。

その部署の策定年と活動内容をお答えください。（○はいくつでも） 策定年(西暦) 年

1. 排ガスや排水等の監視、公害防止
2. 廃棄物の処理や処理状況の確認
3. 環境関連法規制の把握と対応
4. 環境保全に関する経営戦略や全社的な企画等の立案
5. その他 → 具体的に（ ）

問9 貴事業所では、環境方針や環境保全ガイドラインなどを策定していますか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。（○は1つ）

1. 当事業所として策定している。
2. 当事業所としては策定していないが、会社全体としては定めている。
3. まだ策定していないが、今後策定する予定はある。
4. 今のところ策定する予定はない。

策定年
年

問10 貴事業所では、取引先から環境に関する取組を求められていますか。

次の中から、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 国際規格 ISO14001 の認証取得を求められている。
2. 環境活動評価プログラム（環境省のエコアクション21）、環境GSへの参加を求められている。
3. 取引先の示した基準や指針に基づく取組を求められている。
4. 環境への取組をアンケートなどで問われたことがある。
5. 特に求められたことはない。

問 1 1 貴事業所では、環境保全に関する社員教育をどのように実施していますか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。 (○は1つ)

1. 全社員に対して環境教育を年1回以上実施している。
2. 管理職または環境に関連する部署の社員に対して環境教育を実施している。
3. 特に研修制度は設けていないが省資源やリサイクルについて社員に呼びかけている。
4. 特に環境保全に関する社員教育は行っていない。
5. わからない。

問 1 2 貴事業所における環境保全活動の経費の増減は、どのような状況ですか。

次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。 (○は1つ)

1. ここ数年で、環境保全活動の経費は、急激に増加した。
2. 年々、環境保全活動の経費は、少しずつ増加している。
3. 環境保全活動の経費は、ほとんど増減していない。
4. 年々、環境保全活動の経費は、少しずつ減少している。
5. ここ数年で、環境保全活動の経費は、急激に減少した。
6. わからない。

問 1 3 環境保全活動を実施して、得られているメリットはどのようなことですか。

次の中から、あてはまる番号をすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 地域や顧客からの信頼を得られた。
2. 経費が削減できた。
3. 社員の環境保全に対する意識を高められた。
4. 新しい製品やサービスが考案された。
5. 競争力が維持されている。
6. 取引上の優位性がある。
7. 環境保全活動を実施しているが、特にメリットはない。
8. 何のメリットがあるか、わからない。
9. 環境保全活動は実施していない。
10. その他 ()

問15 環境保全活動に関する社外の団体や地域社会への協力について、おうかがいします。

(1) 貴事業所では、環境保全活動に関して、社外の団体や地域社会へ協力していますか。
次の中から、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。(○は1つ)

- 1. 積極的に協力している。
- 2. 多少は協力している。
- 3. あまり協力していない。
- 4. まったく協力していない。
- 5. わからない。

(2) 上記の(1)で「協力している」とお答えした方に、おうかがいします。

具体的な内容について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1. ごみ拾いなどの地域美化活動
- 2. 道に花や木を植えるなどの緑化活動
- 3. 植林や下草刈りなどの森林保全活動
- 4. 拠点回収などの資源回収活動
- 5. 野生動植物の生育環境の整備など生物多様性保全のための活動
- 6. 環境問題に関する勉強会の開催
- 7. 資金支援
- 8. 国際規格 ISO14001 等の取得や環境活動評価プログラム参加のための協力・支援
- 9. その他 ()

IV 環境保全に対する考え方

問16 貴事業所では、環境保全に対する企業の役割について、どのようにお考えですか。

以下それぞれの項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(○は1つずつ)

	非常に 重要である	重要で ある	必要ない	わから ない
① 事業活動に伴う環境への負荷（排ガスや排水、廃棄物など）をできるだけ少なくする。	1	2	3	4
② 環境にやさしい商品等を製造・販売することで、消費者の行動を環境保全型へと誘導する。	1	2	3	4
③ 自らが製造・販売した商品等については、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ。	1	2	3	4
④ 商品の環境に関わる情報などを積極的に公開、提供する。	1	2	3	4
⑤ 開発途上国における公害問題など、国際的な環境保全に協力する。	1	2	3	4
⑥ 企業も一市民として地域の環境保全活動へ参加、協力する。	1	2	3	4
⑦ 国や地方自治体の環境保全施策に協力する。	1	2	3	4

V 行政への要望

問17 貴事業所では、今後、環境保全に対し、国や県などの行政にどのような対応を望みますか。
下欄にお書きください。(自由記述)

以上でアンケートは終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この調査票は同封の返信用封筒に入れ、7月27日(月)までにご返送ください。